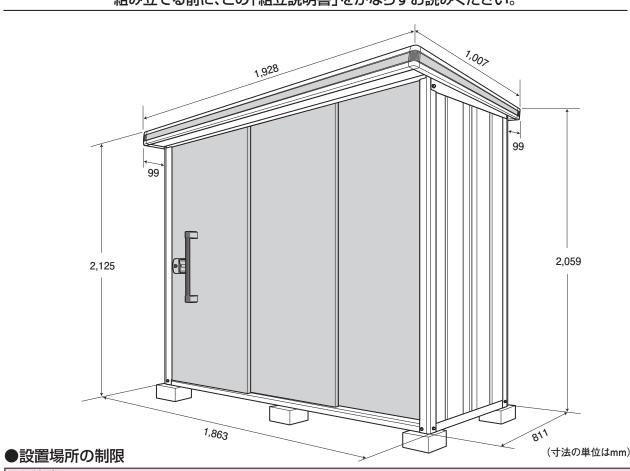
ヨド物置こりに 組立説明書LMD-1808型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- ●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- ●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。 ●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
- ●梱包組み合わせ表

機種		1808型
部 品		LM5-0131
枠	上枠前後	LM5-0204
	下枠前後	LM5-0254
	上枠左右	LL5-0301
	下枠左右	LM5-0351
柱		LM5-0416
鼻隠し		LM5-1104
床		LM5-0702
屋根		LM5-0902
昼 辛		LM5-1004
盂		LM5-1021
袖壁		LM5-1054
扉		LM5-1704
棚板		LM5-1901
合計		14

●梱包内容表

●船品	
LM5-0131	
部材名	数量
ELD 間柱固定金具	2
ボルト(スプリングワッシャー付)M6×15	5 (1)
ELD 柱補強金具(AS)	1
ELD 下レールキャップ	1
T型レンチ	1
ELD アンカープレート (L)	4
ELD 屋根隙間隠し A	2
ELD 屋根隙間隠し B	1
EL 鍵孔フサギ	1
ボルトM 6 × 15 (白)	117 (5)
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5 年	1
*()内は予備
●上枠前後	
LM5-0204	
部材名	数量
ELD 上枠前 AS-A2.5	1

D 間柱前 LD 間柱後 LM5-0702 ●屋根

LM5-0902

ELD 上枠後 A2.5 1

LM5-1054

●鼻隠し

D 連動車

)戸車上昇防止プレート AS 3

LM5-1901 C 棚受 N 右

D 扉支持材 AS-

ポルトM 6 × 15 (白)

●下枠前後梱包 LM5-0254

●上枠左右 LL5-0301

LD 上枠左A 1.0

●下枠左右梱包 LM5-0351

○部材名称にはA1.0、A2.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。 鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。

2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に 従って組立てしてください。

3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

※安全のため必ず手袋を着用してください。

4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、 ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 6ヶ(幅19m×長さ19m×厚さ10mが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)※土の上に設置する場合に必要です。 ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧



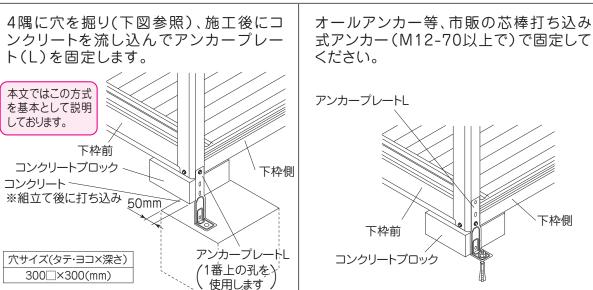
●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図 のような方法があります。強風による転 倒防止のため、必ず行ってください。

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカ - 注意 | ーセット」が別途必要です。アンカープレート(L) を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

《コンクリート床の上に設置する場合》

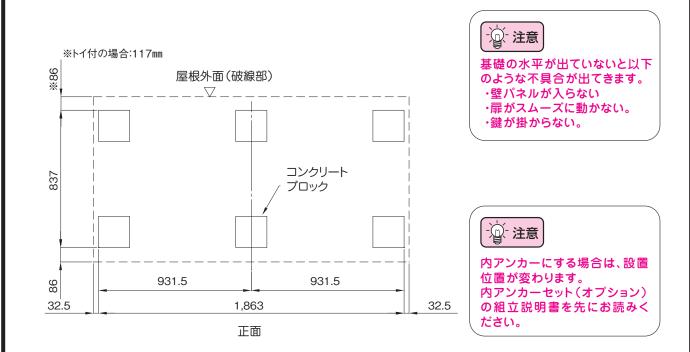


⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

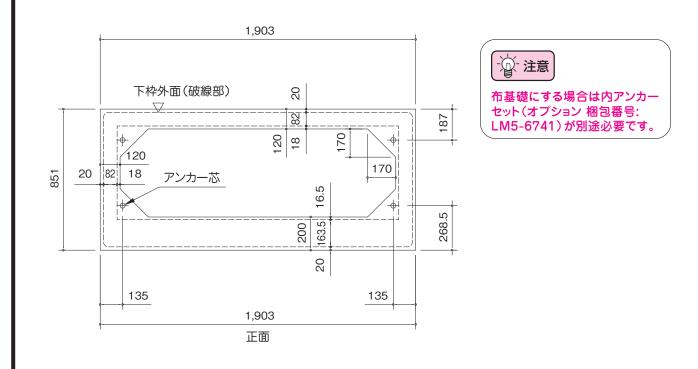
1基礎施工

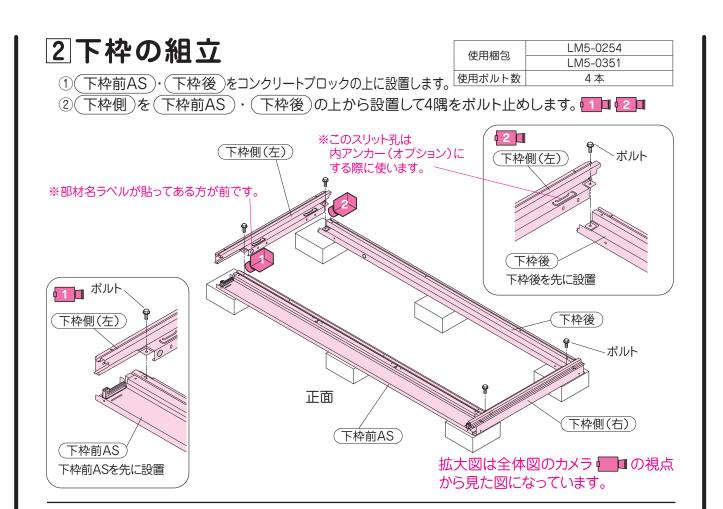
①設置場所の地ならし、地固めを行います。

②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



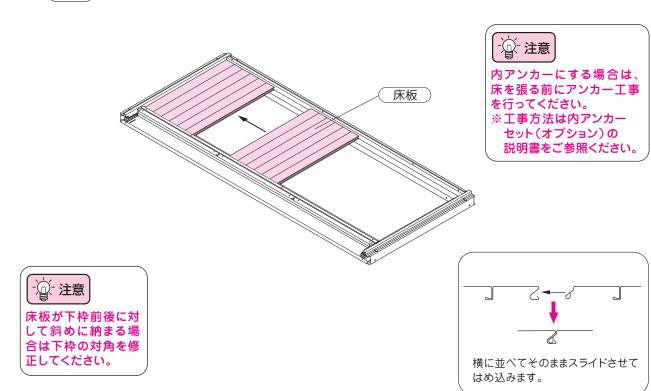
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



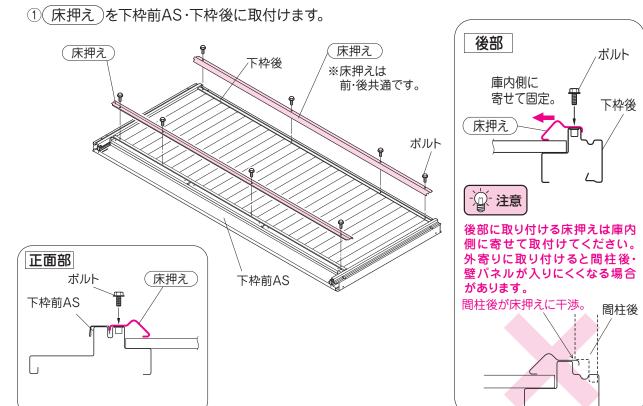


3床の設置

①(床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。







使用梱包

LM5-0254

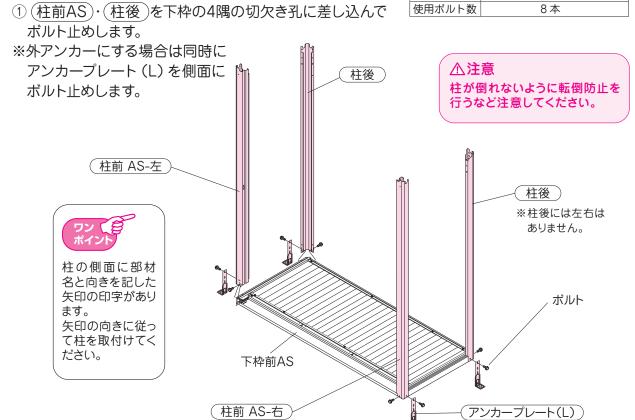
8本

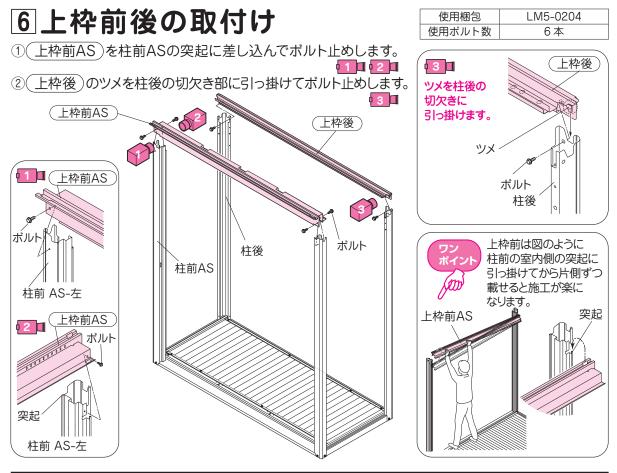
LM5-0416

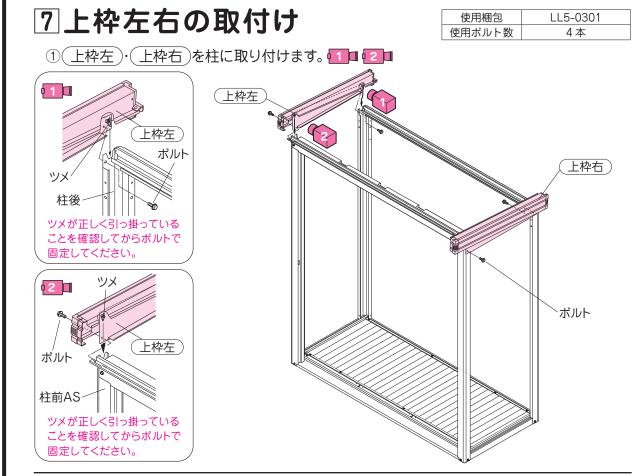
LM5-0131

使用梱包



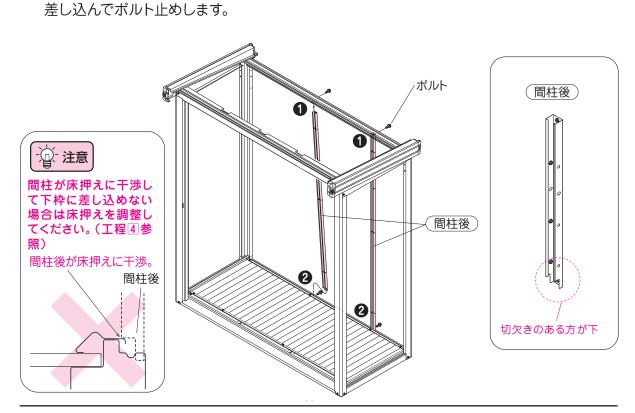






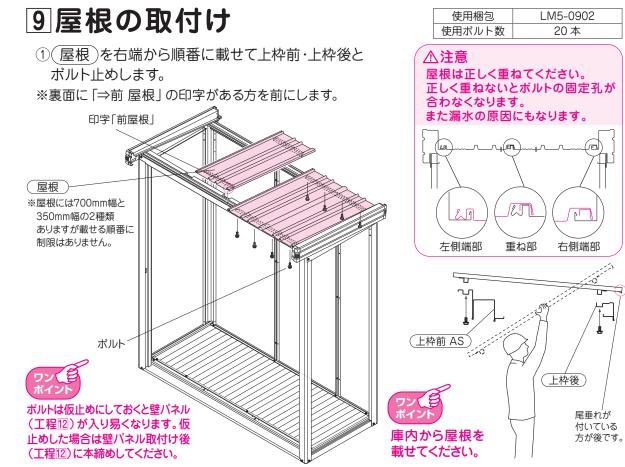


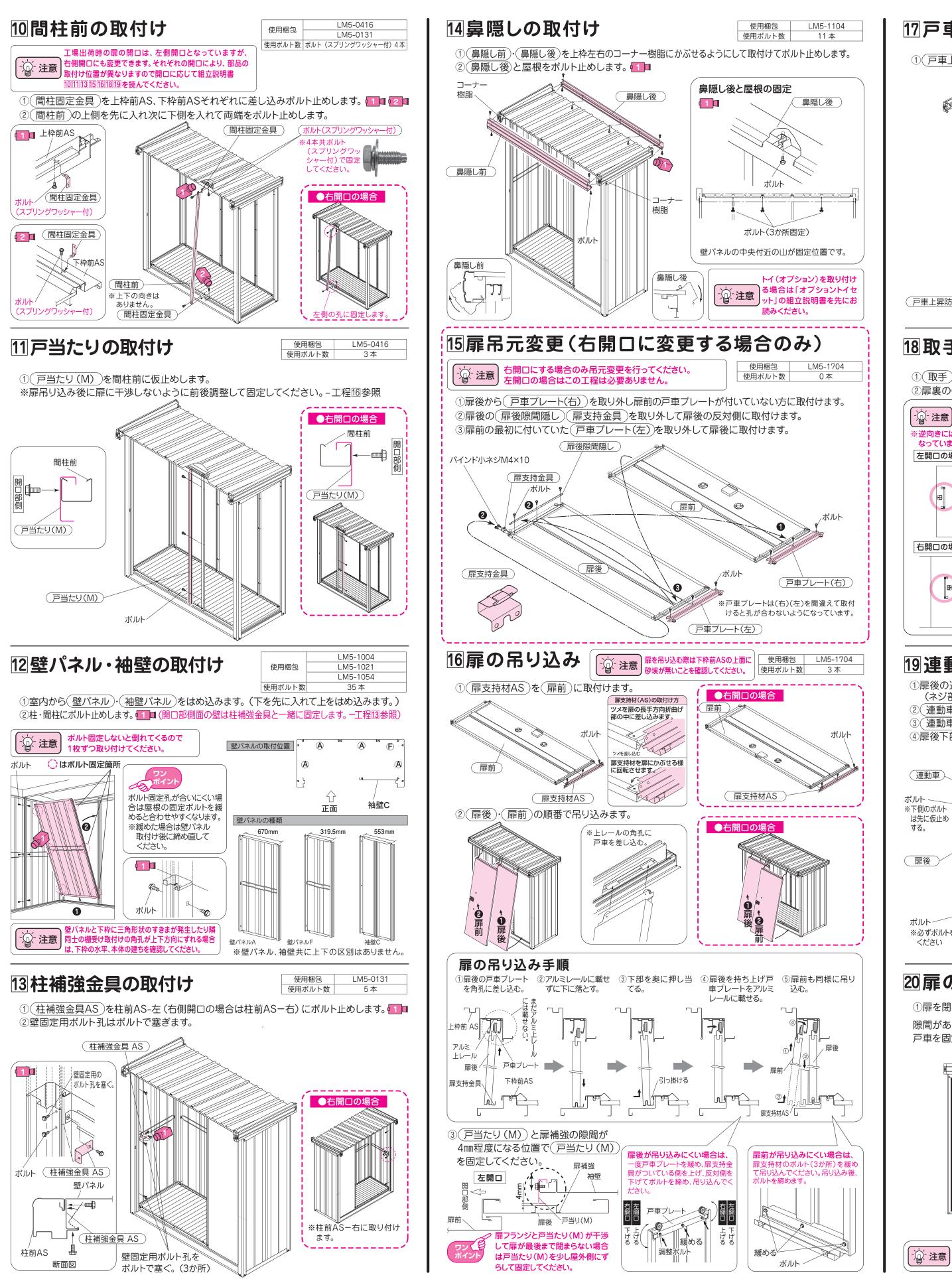
①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に

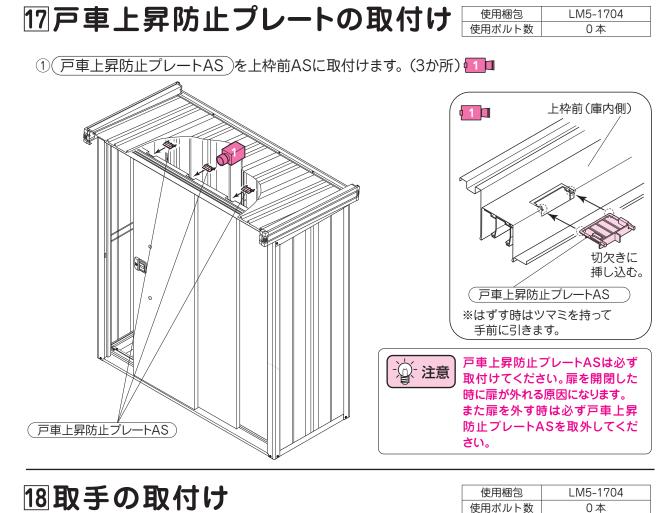


LM5-0416

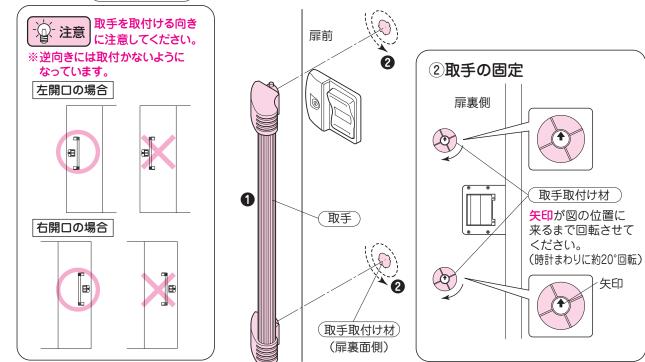
使用ボルト数







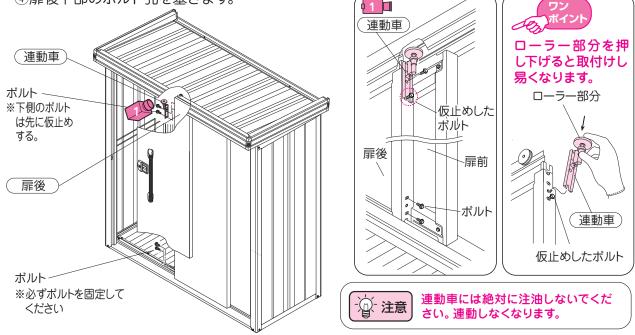
① 取手)を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。 ②扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



19連動車の取付け

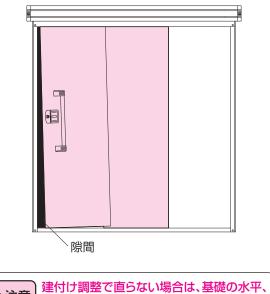
-) 扉後の連動車取付け部下側の固定乳にボルトを仮止めします。 (ネジ部を5mm程度残してください)
- ②(連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。 📶 🛚 ③(連動車)をボルトで固定します。(仮止めしたボルトも締め込んでください。)

④扉後下部のボルト孔を塞ぎます。

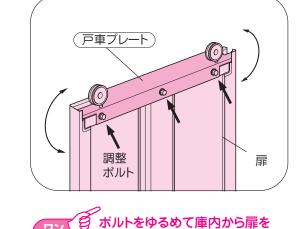


20扉の建付け調整

- ①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。
- 隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、 戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



本体の建ちを直してください。



閉めて扉が柱に沿うように手で 押さえながらボルトを締め直します。



差し込みます。(棚受・N左)

棚板の奥側を

のせる

扉前裏面の

(下レールキャップ

2

下枠前

●施錠する方法

●仮ロックする方法

「注意・警告ラベル」に 機種名を記入して

(棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

下のツメを差し込み角孔の下端まで

棚受·N右

差し込む

②(屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と

施錠:鍵を差し込んで反時計回りに

解錠:鍵を差し込んで時計回りに

※右側開口でも動作は同じです。

押し込みます。

押し込みます。

庫内側のレバーを押し込みます。

180° 戻す必要があります。

※施錠した状態で内部から解錠した場合、

次に施錠する際には鍵を一旦時計回りに

●庫内からの解錠方法 施錠時、仮ロック時どちらの場合でも庫内から解錠できます。

(庫内からの施錠、仮ロックはできません。)

180°回します。

180° 回します。

仮ロック:ボタンの上側を

解錠:ボタンの下側を

棚受を押し下げます。

22 その他部品の取付け

上枠右の重ね部に取付けます。 111

①扉裏面の注意・警告ラベルに、機種名、を記入します。

③(下レールキャップ)を下枠前に取付けます。 21

④(鍵孔フサギ)を袖壁側の柱前に取付けます。 31

下レールキャップ

◆錠操作方法について

「棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.0が2枚付いています。)

A1.0

A1.0

___の壁パネルには棚受は

使用ボルト数

屋根隙間隠しA 重ね部へ

扉が来ない方の

3

柱·前

△注意

施錠した状態で

ボタンを強く押し込

まないでください。

錠の破損に繋がります。

解錠:ボタンの上側を

仮ロック:ボタンの下側を

使用しない時は中に人がはいらない

施錠、仮ロックする場合は庫内に人が

いないことを十分確認してください。

よう必ず施錠してください。

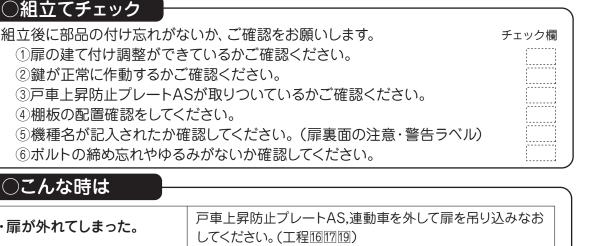
押し込みます。

押し込みます。

鍵孔フサギ

(屋根隙間隠しA) (屋根隙間隠しB)

LMD-1808_KS_2025B



・扉が外れてしまった。 1.本体の建ちを確認してください。 ・**扉がスムーズに連動しない。** 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。 ・取手が外れる。 取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程18) ・**扉が最後まで閉まらない。** | 戸当たり(M)を調整してください。(工程個)

> お客様へ組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。 取扱説明書は大切な書類です。 施工業者の方へ本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(1808)